

九州ポリテクカレッジの学生が提案!北九州市立貫保育所のリノベーション 学生×地元企業×市でつくる みんながうれしい保育空間

- 💡 子ども、保護者、保育士の「三方よし」を実現する多目的ルームを整備!
- 💡 「KiTAQ WOOD」を公共施設の建築部材として初活用!
- 💡 学生・地元企業・行政による産学官連携の協働事業!
- 💡 学生が設計から施工まで参加!

完成イメージ

■ 事業の背景・概要

貫保育所では、0歳児から5歳児まで約80名の子どもたちが日々生活しています。一方で、保護者が人目を気にせず相談できる場所や、配慮が必要な子どもが気持ちを落ち着かせられるスペースの確保が必要となっています。

このため、現在倉庫として使用している旧ボイラー室を改修し、子ども・保護者・保育士が安心して利用できる多目的ルームへリノベーションを実施します。

(着工 1/27(火) 完成 3/7(土)予定)



■ 事業の特徴(産・学・官連携)

【学】

九州ポリテクカレッジ
(九州職業能力開発大学校)
建築科の学生が、保育所職員や保護者の声を丁寧に集め、改修工事のコンセプトおよび設計プランを作成。

【産】

地元施工業者
(株)DAIEIアーキテクツ
学生的設計プランを基に施工を実施。工事の一部では、学生が実習として施工に参加し技術的な指導を実施。

【官】

北九州市
北九州市産木材「KiTAQ WOOD」を活用し、木材の地産地消による地域経済の活性化等を促進。公共施設での建築部材の利用は初。

■ 取材対応について

以下①~③について、すべて取材対応が可能です。

① 学生による施工実習(地元施工業者と協働で作業)

2/3(火)~2/19(木)@貫保育所

※詳細な日時は2~3日前に決定。

お問い合わせいただければ、個別にご連絡いたします。

② 学生による活動のパネル展示と説明会(一般参加可)

2/20(金) 13:00~16:00

2/21(土) 9:00~14:00

③ 学生による活動の学内発表会(学校内部)

2/25(水) 13:45~14:05(時間は前後する場合があります。)

※②・③の会場はいずれも九州ポリテクカレッジ内 ②H棟102教室 / ③B棟102・103教室



【問い合わせ】小倉南区役所保健福祉課 担当 土井(課長) 中村 電話 093-951-1031

九州ポリテクカレッジの学生によるこれまでの取り組み



令和7年6～8月

貫保育所全職員へのヒアリング調査や一部保護者へのアンケート調査を実施

令和7年9月

ヒアリング調査や保護者へのアンケート調査を基に改修案の「コンセプト」と「設計プラン」を作成



令和7年12月

貫保育所の全職員へ改修のコンセプトと設計プランを説明
(職員から大きな喜びと期待がよせられた)

貫保育所旧ボイラー室の状況





2025年度

木でつなぐ、 ぬきのたゆ

設計ポイント

木のぬくもりを感じる仕上げ

木材の優しい手触りや香りは、人をホッと落ち着かせます。そのため、床や化粧梁などに木を使うことで、部屋全体が温かく、安心できる空間になります。

ひろがりを演出する化粧梁

化粧梁を廊下側から外側に向けて、だんだん高くなるように設置します。目線が自然と上や外に向かい、開放的に感じられるように工夫しています。

Concept 木のやすらぎとひろがり、学びの場

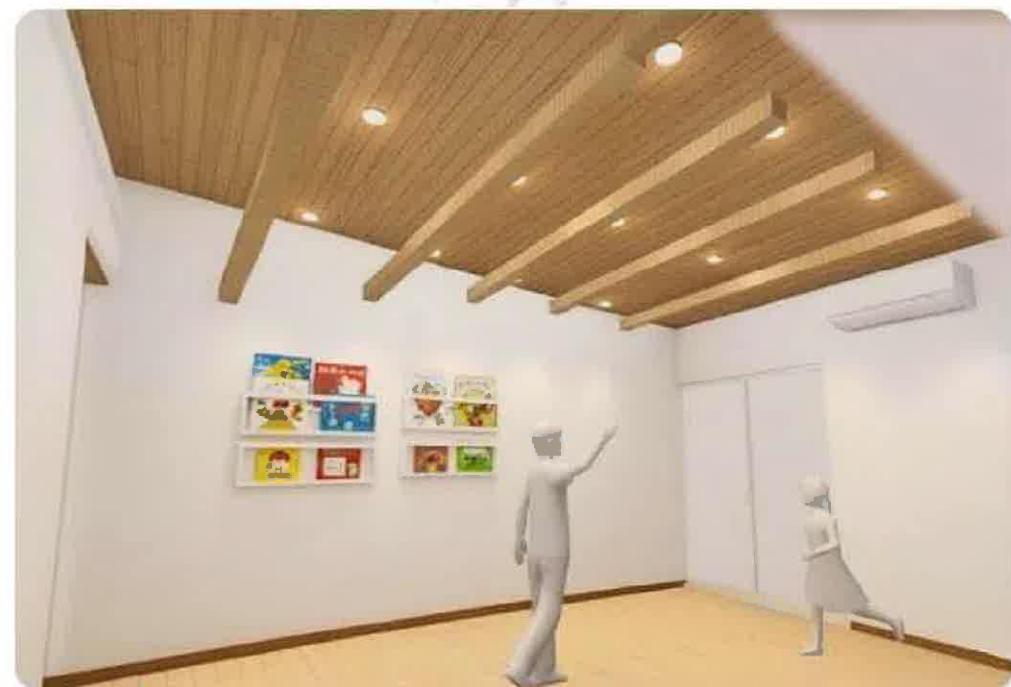
皆さまのご意見をいただき、安心感と開放感を感じられる多目的室となるように、コンセプトを検討いたしました。

一つ目の「木のやすらぎ」は、木のぬくもりとリラックス効果により、子どもたちがまるで森の中にいるような安心感を持って過ごし、健やかに成長できる空間を表しています。

二つ目の「ひろがり」は、開放感のある空間にすること、その中で、子どもたちが心豊かに成長していくという「心のひろがり」を育むこと、この二つの大切な意味を込めています。

最後に「学びの場」として、子どもたちが遊びの中で、自然と学びを深め、自らの成長を実感できる拠点となることを目指しています。

完成イメージ



あとがき

このたび、先生方へのヒアリングや保護者アンケートを通じて、皆様の「あったらいいな」を、形にする貴重な経験をさせていただきました。

私たちが込めた「木でつなぐ、ぬきのたね」という言葉には、地元の木材（木）を通して、貴保育所（ぬき）の子どもたち（たね）が地域との愛着を育み、未来に花を咲かせてほしいという願いが込められています。

新しい多目的室が、子どもたちにとって「今日も行きたい」と思える特別な場所となるよう、心を込めて進めてまいります。

完成までご不便をおかけしますが、ご協力に心より感謝申し上げます。

